

研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学 整形外科学教室

記

研究の名称	外反母趾患者における相対的な第 2 中足骨長の新たな測定方法の研究
対象	2005 年 1 月 1 日から 2023 年 6 月 20 日までの期間に本院で外反母趾に対して手術を行われた患者さんの検査データなどの情報を研究に利用いたします。本学では、200 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2026 年 6 月 20 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：中足痛は、主に第 2 中足骨頭下に生じる前足部痛であり、外反母趾の患者さんの半数に認めます。中足痛の原因の一つに、相対的に長い第 2 中足骨長 (RL2M) や横アーチの低下が原因としてあります。外反母趾の術後においても、中足痛の頻度は、3.7-16.7%と少なくありません。中足痛の治療として、まず足底板や靴の修正などの保存治療が行われますが、保存治療に抵抗性であれば中足骨短縮骨切り術が行われます。また、RL2M が大きい外反母趾の患者さんにおいては、術後の中足痛の出現が危惧されるため、RL2M を短縮させる中足骨短縮骨切り術が併用されます。</p> <p>これまで、RL2M の様々な測定方法が報告されてきましたが、外反母趾の患者さんにおいて、中足痛と最も相関する RL2M の測定方法は明らかではありません。我々は、第 1 中足骨頂点から第 5 中足骨頂点に参照線を引き第 2 中足骨頂点</p>

参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

<問い合わせ窓口>

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 整形外科学教室

担当者 嶋 洋明

連絡先 072-683-1221（代） PHS 56561

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 嶋 洋明 殿

研究の名称	外反母趾患者における相対的な第2中足骨長の新たな測定方法の研究
-------	---------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名(自署)

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者(続柄:)

住所

氏名(自署)